

3 水俣湾・埋立地について

水俣湾の外にも、汚染が広がっていったのですか？
水俣病はどのように広がっていったのですか？

チッソ工場は、初めは水俣湾に廃水を流していました。ところが、病気が発生し、人々が騒ぎ始めたので、1958年(昭和33)9月から、水俣川河口に廃水を流し始め、水俣湾の外の海にも水銀を含んだ廃水が流れ出しました。それによって不知火海が汚染され、鹿児島県や天草の島々まで被害が広がりました。

1959年(昭和34)11月からは、水俣川河口に流すのをやめ、また水俣湾に廃水を流すようになりました。

水俣湾は工場廃水で汚染されて、どうなったのですか？

チッソ水俣工場の廃水で、水俣湾は水銀を含んだ大量のヘドロが海底に積み重なりました。そのヘドロの厚さは4mになるところもありました。また、水俣湾の魚や貝は、メチル水銀で汚染され、人々は魚などを捕ったり食べたりすることができなくなりました。

水俣湾は今、どうなっていますか？
水俣湾の水銀は、どうなっていますか？

水銀を含むヘドロがたまっていた水俣湾は、約13年の歳月と、485億円というたくさんのお金をかけて、埋め立てられました。埋め立てられた土地は、58.2ヘクタール(東京ドーム約13.5個分)あり、1990年(平成2)3月に、水俣湾埋立地(エコパーク水俣)が生まれました。



水俣湾埋立地はヘドロが広がっていた範囲よりもせまいのですが、水俣湾のヘドロは残っていないのですか？

水俣湾の埋め立てられていない場所にたまっていた、高濃度(25ppm以上)の水銀ヘドロは掃除機のようなもので吸い上げて、水俣湾埋立地の下に埋め立てました。それ以下のヘドロは残されていますが、人間の体に影響はありません。

水俣湾にたまっていたヘドロを、吸い上げた掃除機のような機械の名前は何ですか？

カッターレスポンプ 浚渫船といます。海底にたまったヘドロが周りに広がらないように、吸い上げる方法がとられました。

水俣湾のメチル水銀に汚染された魚はどうなったのですか？

1974年(昭和49)に、メチル水銀に汚染された魚が、水俣湾の外に出て行かないように仕切り網を設置して、汚染された魚を取り除く作業を始めました。取り除いた魚は焼却されたり、ドラム缶につめて、水俣湾の海底にたまった水銀を含んだヘドロと一緒に埋め立てられたりしました。

1997年(平成9)7月には、熊本県知事が安全であると宣言し、10月14日には、23年ぶりに仕切り網がはずされました。現在の水俣湾には、19種類のさんご礁が見られます。

現在の水俣湾のさんご礁 →



仕切り網の長さはどのくらいありましたか？

設置されていた時期によって網の形や位置が異なりますが、一番長いときには全長7.5kmもありました。

今の水俣湾の漁業はどうなっているのですか？



水俣湾の魚は安全になったので、漁業も行われています。一般の人たちも自由に魚釣りをすることができます。

